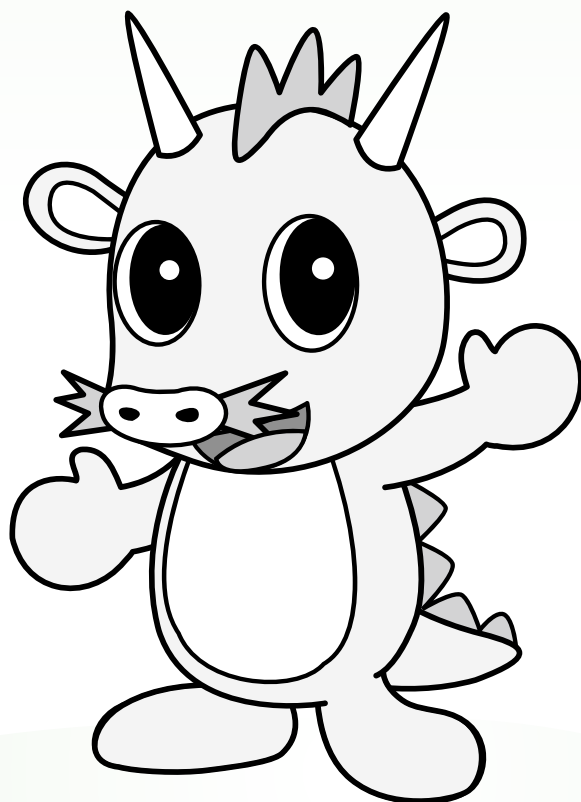


さいたま NEWS マッチングファンド

平成28年度事業報告

vol.8



目次

- さいたまマッチングファンド制度とは？…………… 2～3
- 平成28年度マッチングファンド事業実施報告…………… 4～7
- 協働のテーブル…………… 7
- マッチングファンドへの寄附について…………… 8

さいたま市市民協働推進課



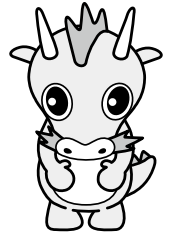
さいたまマッチングファンド制度とは？

さいたま市市民活動及び協働の推進基金（愛称：さいたまマッチングファンド）とは、市民の皆さんが寄附をすることで、市民活動への応援や間接的な参加ができる基金のことです。

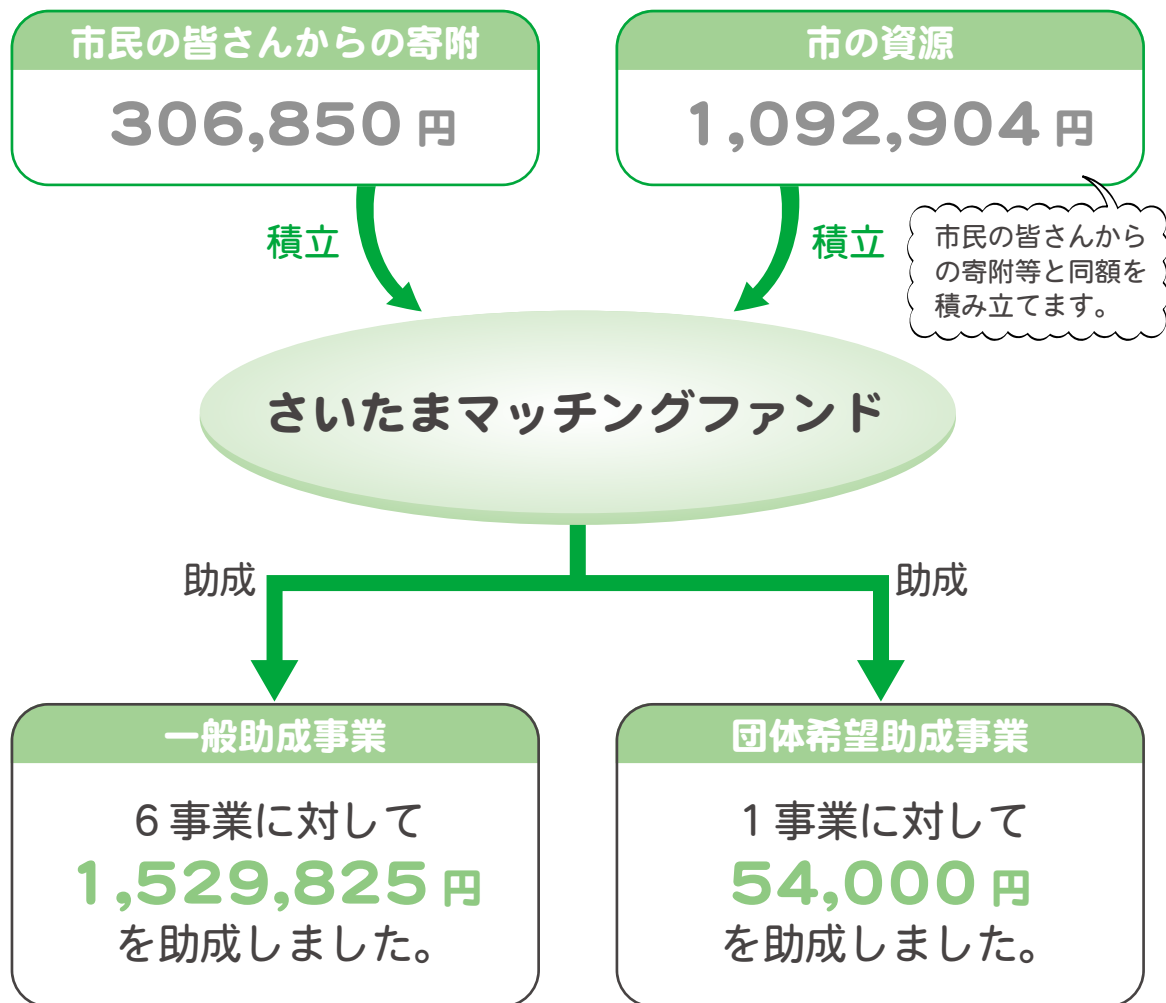
市民活動団体が、市と協働して地域社会の課題を解決するための事業を行う場合や、あらかじめ基金に登録した団体に対して寄附金が寄せられた場合に、この基金から助成を行います。

**さいたまマッチングファンドは、
市民の皆さんからの寄附によって成り立っています！**

※寄附の詳細については8ページをご覧ください。

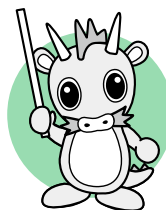


マッチングファンドのイメージ（平成28年度の事例）



助成金の交付を受けた7事業の詳細については、4～7ページの事業実施報告をご覧ください。

一般助成事業と団体希望助成事業ってなに？



一般助成事業

市民活動団体が、市と協働して地域課題の解決へ向けて行う事業に対して、助成金が交付される制度です。

団体希望助成事業

あらかじめマッチングファンドに登録した市民活動団体の中から、寄附したい団体を市民が選び、寄附することにより、その団体の実施する事業に対して助成金が交付される制度です。

登録団体紹介

マッチングファンドに登録されている団体は、以下の9団体です。(平成29年8月31日現在)

団体名	活動の目的
特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	地域の学習者に対し、生涯学習に必要な情報や学習内容を提供する事業を行い、すべての学習行動に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま	まちづくりに関する様々な課題に取り組むために、建築、土木、都市計画、環境、産業経済等の専門的な立場から活動及び支援を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。
北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ 「ふれあいプレイランド」	スポーツ・レクリエーションの普及と振興を図り、青少年の健全な心身の育成に寄与するとともに、子どもから高齢者までの異世代の多様な交流を活性化し、健康増進を図ることにより、健康で楽しい地域の創造に貢献することを目的としています。
NPO法人 自然観察さいたまフレンド	自然保護につながる自然観察を活動の原点として、自然環境保全や環境教育の諸活動をつうじて、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 岩槻まちづくり市民協議会	岩槻区内の各分野で活躍している団体や区民の知恵と経験を結集し、さまざまな提案及び推進活動をすることにより、にぎわいと魅力あるまちづくりに寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	市民、事業者、行政機関と連携して、地球温暖化防止などの環境保全活動を推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 このまちで暮らす会	住み慣れた我が家で暮らし続けるための生活サポートシステムを生活圏ごとにつくることを目的としています。
特定非営利活動法人 エコ・エコ	里地・里山の生態系の保全・再生等、自然豊かな地域循環型社会の実現と、多くの人に自然の仕組みを尊重する働きかけを行うことを目的としています。
特定非営利活動法人 さいママ	孤独な妊娠・出産・育児の負担軽減につながるシステムやケアの提供、及び障害を持つ方へ働く場所の提供をすることで、地域の保健・医療又は福祉の増進に寄与することを目的としています。



平成28年度

マッチングファンド一般助成事業実施報告

【特定非営利活動法人市民の患者学研究会&地域医療課】



長寿社会の生活サポート講座 (医療制度の賢い活用方法)

地域医療を守るための啓発活動を事業のテーマとして、限
りある医療資源を意識しながら、良いサービスを軽い負担
で受けるための選択ができる「賢い患者」を目指した講座
を開催しました。



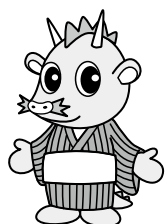
参加人数 109名

助成金交付額 84,042円

団体担当者からの声

行政と協働したことで、大きな実績と自信につながりました。所管課との間では、当初から計画、実施方法、役割分担等について十分な打ち合わせを行い、その中で改善点を見出すことができました。行政側からの発信が難しい情報などを、NPO等が民間の立場から発信し協力する「協働事業」のかたちは優れた方式であり、広げていく意義は大きいと考えています。

【特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま&岩槻区コミュニティ課】



市民が育む地域資産として、 丹過・長谷川見世蔵での活動

昨年度に引き続き、明治初期に建てられた伝統的な見世蔵
を、市民が保全しながらどういった利用ができるか検討し、
公開の勉強会を開催するなど市民が企画運営できるネット
ワークの構築を目指しました。



参加人数 521名

助成金交付額 200,545円

団体担当者からの声

区役所と定期的に会議を行ったことで、問題意識の共有ができ、年間の予定を確実に実行できました。また、庁内組織への働きかけや地元地域への広報、まちづくり関係者へのイベント案内など、行政側と団体側がそれぞれ得意としている分野を活かし合うことができました。マッチングファンド事業を通じて、他の団体との連携を深めることができるため、幅広い市民活動が展開できると思います。



お手軽な見守りシステム 「安心電話」事業

一人暮らしや老老世帯の高齢者など、孤立しがちな方々を地域で見守り、困ったときに手助けできるサポートシステムの構築を目指しました。

団体担当者からの声

NPOだけで行う事業では簡単に信用してもらえず、「市がやっているのなら申し込む」との声に象徴されるように、「安心電話」を信頼できる形で実施することが重要だと感じました。高齢化する社会状況へ適切に対応するうえで、行政と市民の協働は、今後も重要な要素だと思います。さらにスケールの大きなマッチングファンド事業が行われるよう期待しています。



参加人数 60名

助成金交付額 240,853円



ICTの活用による地域の助け合い まちづくりの普及・拡大・継続性の検証

昨年度から継続して、スマートフォン・タブレットの使い方が学べる教室を開催し、地域での見守り・コミュニティ醸成などの助け合い活動を支援するとともに、来年度以降の自主運営を目指して、教室参加者を対象とした講師育成講座を開催しました。

団体担当者からの声

今まで関わりの薄かった方にもご参加いただけただという点で、行政の広報による協力は大きな効果があったと思います。所管課とは、事業段階に応じて情報交換を行い、参加者の公募などの面で協力を得たことで、事業をスムーズに進めることができました。行政との協働ということで、地域から信頼されたことが何よりです。福祉や医療関係の人と連携できたことで、活動の意義も広がりました。



参加人数 75名

助成金交付額 500,000円

【特定非営利活動法人埼玉情報センター&市民協働推進課】



市民活動・協働の情報を発信する 「さいたま市市民記者」の養成と協働の 事例集「協働の秘訣(仮題)」作成事業



誰もが情報発信できる社会になってきましたが、市民活動団体の情報は地域住民に十分届いていないため、そうした情報を発信できる市民記者を養成するとともに、さいたま市における協働事例を取材し、冊子を作成しました。

参加人数 31名

助成金交付額 290,531円

団体担当者からの声

市民記者の協力もさることながら、今まで協働事業を実施してきた団体の方々が心よく取材を引き受けてくれ、本事業に協力していただきました。取材の中で実施事業を振り返ると、それぞれ課題もありましたが、そうした経験を活かして発展的に活動している団体が多く、改めて協働事業に取り組む意義や、その後に「経験」として残るものなどについて考えるきっかけとなりました。

【さといく&男女共同参画課】



「自分らしく生きる力」と 「他者を理解し共感する力」を育む



小学校高学年の子どもたちを対象に、非暴力コミュニケーションと呼ばれる手法をベースにした体験型ワークを取り入れながら、「自分らしく生きる力」と「他者を理解し共感する力」を伸ばし、多様な他者と豊かな関係性を築く基盤の育成を目指しました。

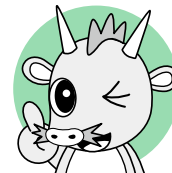
参加人数 74名

助成金交付額 213,854円

団体担当者からの声

所管課と進捗状況を共有し、お互いのリソースを活用しながら課題解決にあたり、柔軟に対応してきたので、信頼感や安心感を持って、事業運営をすることができたように思います。マッチングファンドは、説明会から申込みまで期間が短いなどの改善すべき点も見受けられますが、本事業での経験は、市の課題を知り、また、今までの自分たちの活動の枠を超えて新規領域にチャレンジする意味でも、非常に価値のある機会だと感じました。

マッチングファンド団体希望助成事業実施報告



【特定非営利活動法人エコ、エコ】

見沼田んぼ動植物保護活動及び
自然理解の普及啓発事業

見沼田んぼの在来種の保護を目的に活動するとともに、自然が保全されていることや、自然の不思議・驚きを多くの人に伝えるため、自然観察会や里山.com(畑や森などで里山体験ができるイベント)の充実を図りました。



参加人数 393名

助成金交付額 54,000円

団体担当者からの声

団体希望助成事業を実施したことで、公共施設へのチラシ配布などにご協力いただけた点が有り難かったです。自然観察会については、夏に多くの方からご参加いただきました。今後は、年間を通して参加者が集まるよう、里山.comも含めて広報に力を入れて取り組み、生物多様性の視点を持つ人を増やしていきたいと思えます。



協働の相談窓口

「協働のテーブル」をご利用ください

市民活動団体と市が協働してまちづくりを進めていくために、市民協働推進課が協働の相談窓口として「協働のテーブル」を運営し、課題解決の方策等をコーディネートします。市との協働をお考えの方は、お気軽に市民協働推進課までご相談ください。

市民協働推進課

「協働のテーブル」

協働の進め方について知りたい

協働相手を見つけたい

マッチングファンド制度を活用したい

詳しくは、さいたま市ホームページ内の「協働の相談窓口 協働のテーブル」のページをご覧ください。



マッチングファンドへの 寄附募集中!!

さいたまマッチングファンドは、市民の皆さんが寄附を通して市民活動に参加できる仕組みです。住みよいまちづくりのために、寄附による応援をよろしくお願いいたします。

寄附の種類は？

一般寄附

さいたま市で協働事業を行う市民活動を応援する寄附のことです。
⇒ **一般助成事業**に活用されます。(P 4 参照)

団体希望寄附

あらかじめ基金に登録した市民活動団体を希望して応援する寄附のことです。
⇒ **団体希望助成事業**に活用されます。(P 7 参照) ※一部、一般助成事業にも活用されます。

寄附をする際のお手続きは？

寄附のお申込み方法

「わが街ふるさと納税」からの寄附

寄附申出書による寄附

寄附金の納付方法

● クレジットカード納付 ● コンビニ納付
● 納付書納付 ● 銀行振込

● 納付書納付 ● 銀行振込

※詳しくはさいたま市ホームページ内「『ふるさと応援』寄附の手続きについて」のページをご覧ください。

税制上の優遇措置が受けられます！

マッチングファンドへ寄附をしていただくと、「ふるさと応援」寄附として、税制上の優遇措置が受けられます。

個人の場合

所得税や個人市民税・県民税において、寄附金額に応じて控除が受けられます。

法人の場合

法人税額の算定上、全額損金算入できます。

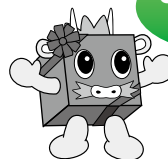
※詳しくは、住所地を所轄する税務署又は住所地の市区町村にお問い合わせください。

お礼の品を差し上げます♪

ふるさと納税(寄附)をしていただいた方に対し、心ばかりのお礼としてさいたま市の特産品等を進呈しています。進呈の対象は、1回1万円以上のふるさと納税(寄附)をした方となります。

※詳しくは、さいたま市ホームページ内の「さいたま市『ふるさと応援』寄附のお礼の品を紹介しませう」のページをご覧ください。

寄附をお待ち
しております！



お問い合わせ先

さいたま市 市民局 市民生活部 市民協働推進課

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階

TEL 048-813-6403 FAX 048-887-0164

E-MAIL kyodo-suishin@city.saitama.lg.jp

このパンフレットは4,000部作成し、1部当たりの印刷経費は、22円です。

発行日：平成29年10月20日